

看護研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部看護学科では、下記の看護学教育に関する研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：看護学生への「NURSE」のコミュニケーション技法の 講義・演習の効果

1. 研究の概要

宮崎大学医学部看護学科4年生で、令和4・5年度の選択科目の緩和ケア論を選択し、「NURSE」のコミュニケーション技法についての講義・演習を受講した学生が対象です。受講した学生に対し講義・演習の前後で、教育評価として質問紙調査を行いました。その、教育評価として行った質問紙調査を分析し、看護学生への「NURSE」のコミュニケーション技法の講義・演習での効果を検証するものです。

● 本学の実施体制

【実施責任者】

宮崎大学医学部看護学科

統合臨床看護科学講座 成人・老年看護学領域 木下由美子

2. 目的

本研究は、看護学生4年生に「NURSE」のコミュニケーション技法の講義・演習を行ったことで、看護学生の患者とのコミュニケーション・スキルにどのような効果があったかを明らかにする。さらに、看護学生のコミュニケーションの教育方法への示唆を得ることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から2026年3月まで行われます。

4. 対象者

対象は、令和4・5年度の医学部看護学科の4年生で、選択科目の緩和ケア論を選択し、「NURSE」のコミュニケーション技法についての講義・演習を受講した学生です。

5. 方法

研究方法は以下の通りです。

「NURSE」のコミュニケーション技法の講義・演習の前後で学生へ、自己のコミュニケーションに関する質問紙、コミュニケーション・スキル尺度ENDCOREs、看護師における患者とのコミュニケーション・スキル尺度をもちいて調査し、その後各尺度結果の前後比較を行います。

講義・演習後の質問紙の自由記述について質的分析を行います。

各尺度の測定値の前後の比較と、講義・演習後の記述内容の質的分析により学生の患者とのコミュニケーション技法についての知識の獲得状況や、患者とのコミュニケーションに対する意識の変化を確認します。

作成日

2024年5月1日 第2版作成

分析結果より「NURSE」のコミュニケーション技法の講義・演習の効果を明らかにし、その効果を基に今後のコミュニケーション教育へ活かします。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

対象学生の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用します。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保(あるいは、特許に関わる事象)ほか個人情報の保護に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

本研究に関する経費は実施責任者が所属する医学部看護学科の研究費で賄われます。本研究に対し企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反^{注1)}はありません。

注1) 研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や看護雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部看護学科 統合臨床看護科学講座 成人・老年看護学領域

氏名 木下 由美子

電話: 0985-85-9826